

2017 FIA 世界耐久選手権 第7戦 富士6時間耐久レース パトリック・デンプシー氏が来場 スタートフラッグを担当!

ハリウッドのスーパースターであり、FIA 世界耐久選手権への参戦で知られるパトリック・デンプシー氏が、15日(日)午前10時からの決勝レースでスタートフラッグを振るグランドマーシャルを務めます。

デンプシー - プロトンレーシングのチームオーナーでもあるパトリック・デンプシー氏にとって、富士スピードウェイは、2015年の同大会の LMGTE Am クラスで自身が優勝を飾った特別な場所です。デンプシー氏はその年のル・マン24時間レースでも表彰台を獲得するなど、彼のモータースポーツにおけるキャリアの中で、2015年は最も輝かしい実績を残した年となっています。

デンプシー氏は、デンプシーセンター(※)による「ガン募金」活動を支援する「デンプシーチャレンジ」のプロモーション活動のために来日しています。

来日中、デンプシー氏は彼の日本での優勝についてのフィルム撮影をはじめ、レース期間に開催されるイベントへの参加や、チームの若手ドライバーへの指導などを行う予定です。

※デンプシーセンター:パトリック・デンプシー氏が設立した米国メイン州にあるガン治療施設

「ピンクリボン財団」によって始められた「乳ガン啓発月間」にあたり、同活動への関心を喚起するため、デンプシー - プロトンレーシングの Porsche 911 RSR(991)の77号車には、本大会期間中、「ピンク」を色調としたカラーリングが採用されています。

なお、この決定に伴い、【FSW インフォメーション No.I-29】でお知らせした松田次生選手の担当は、「ゴールフラッグマーシャル」となりました。こちらにもぜひご注目ください。



パトリック・デンプシー氏(右)
2015年FIA WEC 富士
LMGTE Am クラス優勝時



デンプシー - プロトンレーシング
Porsche 911 RSR (991)



松田次生選手

以上